

『大学設置審査評価法令集[2020年10月版]』推薦のことば

○ 思わぬ情報、見知らぬ法令や通知にも出会う “重要さ”

小林 雅之

桜美林大学 総合研究機構 教授

日本高等教育学会 会長

『大学設置審査要覧』は、設置審査の際の座右の資料としていたが、それだけでなく、大学に関する法令や通知を集めたもので、大学研究者にとって非常に便利なものであった。この度、この設置審査要覧にさらに関連する法令や資料を集めた、『大学設置審査評価法令集』が刊行され、いっそう関連法令や通知を見る際に利便性が増した。タイトルの通り、設置審査だけでなく、大学評価や質保証の作業の際にも多いに活用できるものである。とりわけ評価制度は、2004年の発足以降、認証評価制度や国立大学法人評価など、複雑さを増している。また、教学マネジメントやガバナンスなど、新しく加えられたカタカナの政策や制度も多い。関連する法令や通知を理解することは、関係者にとって必須の条件となっている。

現在では、大学に限らず、多くの法令はインターネットを通じて、見る事ができる。検索も可能なため、目的の語句を容易に見つけることができる点では紙媒体より優れている。しかし、法令集に収集されているような通知や資料などは、その存在を前もって知らない限り、見つけ出すことはきわめて難しい。この点で、この法令集は目次から容易に見つけることができる。

また、紙媒体であることの良さは、一覧性に優れていることと、インターネットとは逆に、これまで知らなかった法令や通知を見つけていることができるという点だ。バラバラと頁をめくることで、あるいは、手に取って調べようとした法令や通知を見る際、見知らぬ通知や資料が目に入ったことで、思わぬ情報を得ることができる。大学関係者とりわけ研究者にとって、これはたいへん貴重なことだ。

つまり、インターネット時代だから、紙媒体の資料がまったく不要になったというそうではなく、両者を使い分けていくことが重要なのだ。たいへん便利な法令集を是非活用していただきたい。

(2020.12.25)